

第2回市内事業者の集い

「人事の会」 録

5月28日（水）に開催した市内事業者の集いの内容です。

今回は、人事に係わる方の集まりでした！

自社の課題や悩みに対し、他の企業さんから体験談も含めてそれに対する有効な方法や事例について意見が飛び交いました。

また、自社の成功事例や人材確保のノウハウなどについても共有していただきました。

このような機会がないとなかなか他社の方と腰を据えて話をする機会もないと思います。

今回参加できなかった方は、ぜひ参考にしていただき、次回以降についても多くの方の参加をお待ちしております！

（日程・場所）

5月28日（水） 16：00～18：00 みとよ未来創造館 会議室C

（スケジュール）

16：10 開始あいさつ

16：15 自己紹介

16：30 全体討議

17：30 名刺交流会

18：00 終了

(参加事業者)

- ・ ANDO
- ・ エスコ事業協同組合
- ・ 三豊給食センター
- ・ エフディアイ
- ・ 瀬戸内ビレッジ
- ・ 本気モード
- ・ 五星
- ・ 瀬戸内ワークス
- ・ さぬき鳥本舗
- ・ 三豊市商工会

全10社12名+三豊市職員4名=計16名

「人事の会」の内容について

○採用事情

- 業種により、年齢・能力で求めるものは様々。
- 募集をかけると、高齢の方が来られることが多い。実際ハローワークでも65歳以上で仕事を探している人が多い。
- 高齢の方は、体力・能力的な点で、重労働のポストやフルタイム勤務は厳しい。
- 足りないポストは、外国人労働者の方で埋めているケースもある

→企業のニーズと就業希望者の間で条件のマッチングがうまくいっていない

(理由)

【供給側(労働者)】

- 高齢の方が多いが働ける職種・時間が限定的。
- 外国人労働者は、重労働は可能であるが職種は限定的。

【需要側(企業)】

- フルタイム勤務希望が主流。
- マニュアル化や業務の細分化が進んでおらず、人頼みの構造（フルタイム勤務）となっている。
- 求めている職種を絞っている関係でマッチしていない。
- 人でカバーできない部分の機械化については、前向きな企業もいる。

(ニーズ)

- よくある求人サイト（会社が求人を出しそれに対し就労希望者が申込をする）とは別に、「地域内就業人材の可視化がされたサイト」（仕事を探している人が会社に自慢のスキルをアピールしたり、「こんなことがやりたい!」と言うと、会社は採用の申し込みをする）もあつたらいいのではないか。
- 「65歳以上専用の仕事マッチングサイト」
- 「三豊市版の人材バンク」

○人材確保策

(求人)

- 求人票は作る側の目線になっていることが多い。求職側の目線（社風などをアピール）で作成する工夫が必要。
- 採用に結びつくためには、会社のPRが大事だと思い、全国をターゲットとする内容にしたところ、他市ならず県外から移住を伴う採用もできた。
- 求人は、書き方見せ方を変えると効果は大きい。工夫が必要。
- 若手を募集する際には、「やる気がある人」と求人を打つと効果的。
- ニッポン仕事百貨というサイトがある。仕事の内容だけではなくストーリーを大事にしている。想いに共感して応募してくるといい人材が集まる。変に求人サイトにお金払うなら、みんなでお金を出し合っとなにかイベント的なことをやるほうがいいのではないか。

(移住者)

- 大手企業ほど業績がよくても早期退職（転職）を募っている。地方への転職がトレンド。
- 3つのレイヤーがあり、一つ目は20代後半で東京で一度働いたけど地方がいいと思った世代、2つ目は転職世代。3つ目はリタイヤ世代。

(短時間・短期間・人材の共有)

- 例えば、長野県の野沢温泉は、冬はものすごい繁忙期であるが夏は閑散期。従事者は夏は別の場所で働き冬は野沢温泉で働いているとの例もある。そこ（夏）で三豊で働いてもらうとかという発想があつていい。
- タイミーのように働き方が多様化している。宮古島はタイミーでの募集が多い（雨の際に現地ですることがない→タイミーで仕事探す）。
- 一人を2社で採用している事例（A社には週3日B社には週2社勤務）もある。

○市の現在の施策に対する意見

- 主に新卒向けの説明会も良いが、即時（中途）に採用をしたい企業も多いのでは。

そういった方向けの企業説明会があると嬉しいかも。

- 採用向け説明会も、規模を抑えて、多様化（即時・中途採用・子育て中・高齢者）に対応することも必要かもしれない。

（会の様子）

